

“アフターコロナ時代、SaaS基盤とした レンタカープラットフォームが沖縄に初上陸！”

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

2年以上続くコロナ禍で沖縄の観光業界は今までに無い厳しい状況に陥っています。

当たり前の様に来沖していた海外からのインバウンド観光客の姿が「0」となり観光業界では今後の対策さえ立てられない状況になっております。

特にレンタカー業界は50%以上の減車を余儀なくされ、増車も中々の勇気が必要な時期になりました。

コロナ禍では対面よりは非対面プラットフォーム事業が消費者には注目され、全ての産業領域のデジタルトランスフォーメーション（デジタル転換）になっております。

それは旅行業界とレンタカー業界でも必ず進めなければならない時代に到来していると思います。

これにより当社はコロナという危機をチャンスと捉え大手、中小に関わらず全てのレンタカー会社を対象とし、インバウンド客を迎えられる

‘インバウンド客専門レンタカー料金比較サイト’を開設する運びとなりました。

既存航空業界と宿泊予約の際に存在していたCRS(Computerized Reservation System)機能をレンタカー予約の際にも適用させることによって旅行者としてはよりオーバーブッキングがないオンタイムでの正確な予約が出来ることとなります。GDS(Global Distribution System)機能を通じてはOTAにも露出されることとなり画期的に販売ルートが広がることとなります。

まずは韓国の観光客を始め、台湾、香港、タイなど広げていく計画をし、既に韓国国内レンタカープラットフォーム事業シェアNo.1を誇る「KAFLIX」と業務提携締結を本日結びました。

今日の業務締結により旅行者は日本では初めてオンタイムレンタカー予約が出来、車両引き受け時はデジタルキオスク（KIOSK）による全ての手続きが非対面で完結されます。

そこで現在深刻な問題とされる人材不足を解決させ、ビックデータ基盤の経営も出来ます。

お客様も母国語での案内でより安心感を与えるサービス具現を作る事が出来ます。

コロナ禍でまだ見えない出口ではありますが、これからシステム開発、インフラを構築し、今年9月グランドオープンを目指しております。

国際線が開設になった場合はインバウンド客が国内で一番先に沖縄を選んで頂ける様になると確信しております。

コロナで大打撃を受けた観光立県沖縄で海外からのインバウンド客に特化したレンタカー料金比較サイトが少しでも県内観光需要に貢献出来たら幸いです。

本日は韓国から「KAFLIX」社の代表ユン・ヒョンジュンさんを始め3名と同行致しました。

海外から航空便が開設された後の沖縄観光の一助になると確信しております。

以上